

まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生推進交付金事業検証シート

事業名	KIX泉州ツーリズムビューロー事業 【当初:(仮称)泉州観光DMO推進事業】	担当課名	政策推進課	
交付金の種類	地方創生推進交付金			
まち・ひと・しごと総合戦略における位置づけ	NO	基本目標		
	2	地域資源を活用した取組となんでも近い泉大津市の強みを活かし、それらを積極的に情報発信することにより、様々な交流を生み出す。		
	NO	施策と取組内容	NO	施策と取組内容
	1	泉大津らしさを活かした交流を促す		

【基本目標の数値目標】

指標	現状値	目標値	H30年度実績値
市外の人に自慢できる資源があると思う市民の割合	H29:29.2%	R6:40.0%	H30:32.6%

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域資源を本市単独で活用するのではなく、泉州地域の市町が連携し、一丸となって戦略の策定・推進や事業に取り組むことで、泉州地域への訪日旅行者数の増加を図り、ひいては本市への誘客につなげる。
(事業概要等)
「泉州」の認知度向上とさらなる誘客を図るため、一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューローへ負担金を支出するとともに、連携調整会議へ出席し、より良い事業展開をめざし、積極的に意見や提案、要望などを行う。

【事業費】

項目	R3決算額	R3地方創生交付金額	R4予算額	R4地方創生交付金額
金額(単位:千円)	5,360	2,680	2,510	
令和3年度事業費内訳(単位:千円)	費目			金額
	負担金、補助及び交付金			5,360

【事業の重要業績評価指標(KPI)】

重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値	R3年度実績値
各イベントの集客数(対象が市民限定のイベントを除く)	H30: 66,500人	R6: 66,500人	R3: 13,292人

(成果の概要)

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束が見られず、また、変異株による感染拡大といったことに起因する事業の縮小開催や中止に伴い、重要業績評価指標に設定しているイベントへの集客数は低調なものとなっている。また、関西国際空港での入国制限も続いている、泉州地域への誘客という面においてもコロナ禍以前の数字を大きく下回る状況が続いている。そのような状況下において、日中往来再開に向けた国際商談会への出展や在住外国人に向けた留学生EXPOへの参加、多言語でのSNSを活用した情報発信等、アフターコロナのインバウンド需要を見据えた泉州地域のPR活動を実施した。また、先行きが不透明なコロナの状況も踏まえ、ICT技術を活用したオンラインファムトリップやライブコマースの実施や、関西国際空港を拠点に離発着をしているエアラインやその地域の観光団体と連携強化といった取組みを行い、国内への泉州地域のPRを実施した。
また、地域住民や事業者を対象とした観光に対する意識啓発事業としてのセミナー開催や泉州観光地域づくり連絡協議会内において、地元事業者とともに観光を切り口とした地域づくりのワークショップの開催や地図アプリを活用した情報発信の充実化に取組み、受け入れ環境整備の推進を図った。

【今後の方向性】

課題(問題点)及び今後の方向性	メジャーな観光資源がない泉州の各市町にとって、単独ではなく泉州地域一丸で誘客に取り組むという方向性は変わらないが、KIX泉州ツーリズムビューローとともに、地域の民間企業や地域住民の協力のもと、泉州地域ならではの特色をいかした着地型観光のルート開発を一つでも多く提供できるよう地域資源の創出に取り組んでいく。 また、新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明な中ではあるが、コロナ禍においてマイクロツーリズムといった新たな旅行形態が定着してきている点も踏まえ、各種イベントなどソフト面も含めた観光資源の創出といった取組みを推進していく。
-----------------	---